

第1回検討委員会の議論と理念との対応関係

みんなでも乗り越えよう

- ・「相双一心」。双葉郡全体で戻る必要がある。
- ・首長単独で動くより、双葉郡等で目標を一つに力を合わせるべき。
- ・浜通り全体の復興、福島県の東西軸での連携等、もっと大きな視点も必要。
- ・不安や課題をまずみんなで共有すること。
- ・住民として何ができるかを考えるべき(除染の講習会等)。
- ・町民独自の努力をまとめて計画に盛り込む。
- ・帰れない気がしている人も、前向きにさせるビジョン。
- ・浪江の海・町・山の方々の意識の違いを認識し、共有することが大事。
- ・地域別のビジョン。
- ・若い人が戻らないといけませんが、年代で温度差がある。
- ・住む人がいなければ、地域の再生はできない。
- ・地域の企業が帰らないと、住民も帰れない。
- ・学校、病院、商店がないと戻れない。

「ふるさとなみえ」の再生

- ・なみえは、みんなの心のよりどころである。
- ・現状復帰が第一。
- ・地域コミュニティの再生が必要。
- ・コミュニティ(PTA、行政区、学区等)の維持が必要である。
- ・浪江町の文化、歴史、民俗、習慣の維持が課題である(伝統文化の今後は心配)。
- ・町に戻った後の雇用の場の確保が重要である。
- ・町に戻って商売が成り立つか心配である。
- ・風評被害が心配である。
- ・企業を誘致し、雇用・町税を確保することが必要。
- ・再生エネルギー基地の誘致を図る。
- ・農地の除染をどうするか。
- ・農業施設の復旧が必要。
- ・年が経つと、農地は使い物にならなくなる。
- ・あらゆる災害に対応できるインフラの整備が必要。・現行のビジョンには沿岸部がどうなるかという視点がない。
- ・(沿岸部で)「命を守る」ためには、高台・二重防波堤・避難道の整備が必要。
- ・除染によって、帰還できるようになるのかという情報がほしい。事故に関する詳細な情報がほしい。
- ・除染に関して、納得できる統一した基準が必要である。
- ・町に戻れないならば「戻れない」といってほしい。
- ・子供に影響があるのでとは不安。現状では戻って子育てする気にはなれない。

全ての町民が生活を取り戻す

- ・地域の復興の基本として「一人一人の復興」が必要である。
- ・不安や課題をまずみんなで共有すること。
- ・浪江の海・町・山の方々の意識の違いを認識し、共有することが大事。
- ・帰れない気がしている人も、前向きにさせるビジョン。
- ・地域別のビジョン。
- ・家族がバラバラに生活している。